

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:10 事業名:山梨近代人物館管理運営費

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>・近代人物館は、近代人物や県庁の歴史を伝える貴重な施設だと感じたが、まだ認知度は高いとは言えず、来館者も思ったより伸びていない印象を受けるので、県民に広く知っていただき、利用してもらうために一層の努力をして欲しいという観点から「要改善」とした。具体的に2つ申し上げる。</p> <p>・まず、展示内容として、一番来てもらいたいのは小中学校の児童・生徒だと感じたので、ぜひ小中学校の総合的学習の時間として活用する学校を増やすための努力をしてもらいたい。そのために、県の教育関係との連携はもちろん、学校に向いて学校側のニーズを聞くなどの対応をしてほしい。</p> <p>・展示内容は県の施設なのでかたい部分があるのは仕方ない。小学校向けにアレンジもしているようだが、もう少し身近なものになるよう、展示内容の幅を広げてみるのも必要ではないかと思う。</p> <p>・また、成果目標が全体の来館者になっているが、授業にふさわしい施設となると、小中学校で授業に取り入れている学校数を目標に入れるのもひとつではないかと思う。</p> <p>・2つ目は、認知度の向上につながる努力をしてほしい。アンケートはかなり詳細にされているが、来館者増につながる来館のきっかけの部分は、少し設問が甘いと思う。その設問を細かくして、来館のきっかけを把握した上で、どのように認知度を上げていくか、PRしていくかを考えていってもらいたい。</p> <p>・施設ができて3年余り。これは提案だが、一度、県民意識調査で近代人物館やジュエリーミュージアム、県庁見学コースを含めた認知度調査をしてもらいたい。誰が知っている誰が知らないのかによって、認知度の向上策は変わってくると思う。</p>

小澤アドバイザー	「要改善」	<p>・来館者が少しずつ増えてきているが、まだまだ県庁の敷地内に施設があるということが一般県民に知られていないと思う。県庁敷地内に入りにくいという意見もあるので、もっと文化遺産であることを知ってもらい、歴史的に価値の高い県庁舎だということをPRしていくことが必要だと思う。</p> <p>・小学生、中学生、高校生にもPRしていく必要があると思うし、細かくアンケート調査をすることにより、近代人物館をより良くする内容などを、もっと知ることができるのではないかと思う。</p> <p>・また、県内外へ山梨県をもっとPRすることが、オリンピックを契機とした観光客の増加を見込めることから必要だと思う。</p>
村上アドバイザー	「要改善」	<p>・教育普及事業は、テーマごとに幅広い年齢層を対象としており、教育だけでなく、高齢化が進む中で県民の文化・歴史にふれる活動に資するものにもなっている。県の事業として良い事業だと思うので、回数を減らさずにやって欲しいと思う。</p> <p>・小中学生には、学校等への働きかけを継続的に行って、利用を促してもらいたい。また、一般の方の中にはリピーターとして何度も利用している方もいて、県民の学びの場として、良い場の提供ができる施設だと思うので、まずは、来てもらうことが必要で、そのための広報活動を行ってもらいたい。</p>